

令和2年度抗体検査を活用した
新型コロナウイルスの県内の感染状況等を
評価するための調査について

< 第一回（7月）調査結果 >

令和2年11月

< 実施主体 >

奈良県

< 事業委託 >

奈良県立医科大学

検査について

○実施方法等

- ・ 県内病院を7月に受診した、奈良県内在住の外来通院患者の血液検査の検体残余を活用し検査
（病院内で研究情報を通知するオプトアウト方式で実施）
- ・ 検査対応機器を保有する県内2病院で実施。
- ・ 検体合計数 3505検体

○陽性の考え方

- ・ 陽性の判定をより正確に行うため、また厚生労働省が実施した「抗体保有調査*」（令和2年6月実施）結果と比較するため、2種類の検査試薬の両方で陽性と確認された者を「陽性」と判定。

*6月1日～6月7日に東京都、大阪府、宮城県の20歳以上の一般住民（合計7,950名）を対象に行った調査

○今後の予定

- ・ 令和3年2月頃 第2回検査実施 ・ 令和3年3月 検査結果総括

検査結果

抗体検査陽性率 **0.03%** (3,505人中1人)

2種類の試薬のどちらも陽性の結果が出たのは、1名* (黄色)

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	1 (0.03%)	5 (0.14%)	6 (0.17%)
ロシュ (-)	14 (0.40%)	3485 (99.43%)	3499 (99.83%)
計	15 (0.43%)	3490 (99.57%)	3505

- 陽性率からは、7月時点において、県内ではほとんど感染が広がっていなかったことがわかった。
- 陽性率が低いため、地域別、年代別等の評価は困難だが、厚労省調査データと比較し、県内の感染状況を次に評価

○抗体検査陽性率 厚労省調査との比較

厚労省調査データと比較すると、陽性率は宮城県と同程度

東京都 0.1% (1,971人中2人)

大阪府 0.17% (2,970人中5人)

宮城県 0.03% (3,009人中1人)

奈良県

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	1 (0.03%)	5 (0.14%)	6 (0.17%)
ロシュ (-)	14 (0.40%)	3485 (99.43%)	3499 (99.83%)
計	15 (0.43%)	3490 (99.57%)	3505

東京都

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	2 (0.10%)	4 (0.20%)	10 (0.34%)
ロシュ (-)	2 (0.10%)	1963 (99.59%)	1965 (99.70%)
計	4 (0.20%)	1967 (99.80%)	1971

大阪府

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	5 (0.17%)	5 (0.17%)	10 (0.34%)
ロシュ (-)	11 (0.37%)	2949 (99.3%)	2960 (99.66%)
計	16 (0.54%)	2954 (99.46%)	2970

宮城県

	アボット (+)	アボット (-)	計
ロシュ (+)	1 (0.03%)	6 (0.20%)	7 (0.23%)
ロシュ (-)	2 (0.066%)	3000 (99.7%)	3002 (99.76%)
計	3 (0.11%)	3006 (99.9%)	3009

参考資料
厚労省
データ